

## 2022年度 独創的研究助成費 実績報告書

2023年2月10日

報告者	学科名	子ども学科	職名	教授	氏名	山本 孝司
研究課題	体験活動の教育原理に関する研究—ソロー超越主義思想を手がかりに—					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	山本 孝司	子ども学科・教授	教育学	調査・分析・総括	
研究実績の概要	<p>本研究では、今日の学校における体験活動重視の動向を踏まえつつ、ソローの超越主義思想のもつ自然主義と経験主義的要素の中に探り、もって今日の日本の学校教育にかかわる実践理論構築のヒントを得ることを目的とした。</p> <p>本研究は、ヘンリー・D・ソローの『ウォールデン—森の生活』等の著作群の中に示される言説を研究材料とすることはもちろんのこと、ソローの自然主義・経験主義思想の全貌をスケッチするために、彼の著作のみならず、彼の属した19世紀ニューイングランド超越主義の中に彼の思想の位置づけを行うことで、彼の思想のもつプラグマティックな側面を描出し、さらに今日の学校教育における体験活動の重視との関連で、ソローの自然主義・経験主義思想を教育実践理論として読み替えることを目的としていた。研究計画としては、次の手順で考察を進めることとした。</p> <p><b>1. ソローの自然主義思想に関する考察</b></p> <p><b>2. ソローの経験主義思想に関する考察</b></p> <p><b>3. ソロー自然主義・経験主義思想の教育的意義に関する考察</b></p> <p>上記の3つの研究を順次進め、ソローの自然主義・経験主義思想を、19世紀アメリカ思想史の中に位置づけ、その評価を行い、そのうえで、今日の学校現場で重視される体験活動との関連で彼の思想のもつ今日的な教育的意義について探る予定であったが、研究着手の段階で、体験活動のうち「エディブル・スクールヤード」（エディブル教育）との関連でソロー超越主義思想を捉え直す必要性を感じ、当初の研究計画を見直すこととした。</p> <p>そのため当研究課題自体は未着手で研究助成費も未使用のままとして報告させていただきます。</p>					
成果資料目録	<p>関連業績</p> <p>①小畑千晴・安久津太一・山本孝司「『雑草型』幼児教育人材育成」プロジェクトの意義と実践の試み」『岡山県立大学保健福祉学部紀要』第29巻,2023年3月刊行予定。</p> <p>②小畑千晴・山本孝司・安久津太一・エリック・デスマレス・児玉太一「幼児教育におけるエディブル・エデュケーション導入に関する基礎研究」『岡山県立大学教育研究紀要』第7号第1巻,2023年3月刊行予定,pp.31-39。</p>					